

【平成24年度】

～「水が織りなす安曇野今昔物語」講座～

～第3回～

人物編「明治から大正時代」



礪山美術館

と き : 平成24年8月8日(水) 午後7時から

場 所 : 穂高交流学習センター「みらい」

講 師 : 中島 博昭 氏

講師プロフィール

中島 博昭 氏（なかじま ひろあき）

1934年 安曇野市穂高生まれ。

現在、地域史研究家、「安曇野文芸」編集長、安曇野塾運営委員。

長年、松本深志高校など県内の高校社会科教師を務めるかたわら、郷土の優れた人物や文化財の掘りおこしと顕彰、地域づくりに尽力。

前長野県短期大学講師。

著書 『鋤鋤の民権—松沢求策の生涯』

『がいどぶっく 安曇野の里 穂高ものがたり』

『安曇野に八面大王は駆ける』

『探訪・安曇野—その旅と歴史ロマン』

『唄え、安曇節』

『常念山麓』

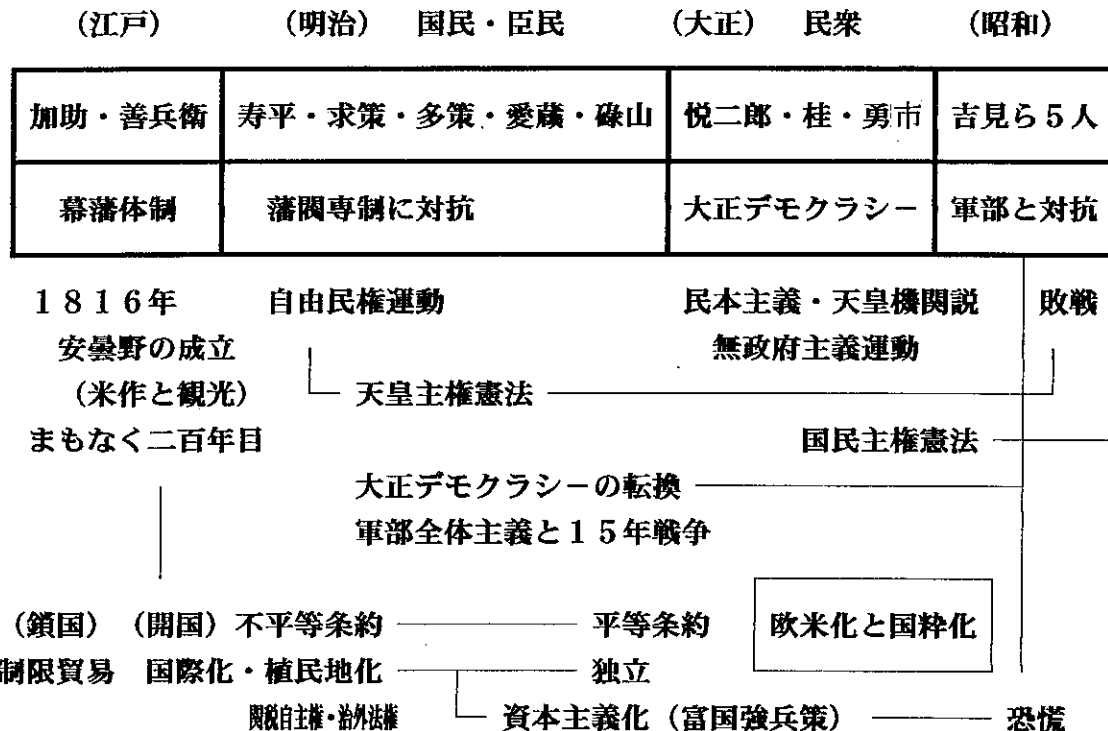
『犀川川筋ものがたり』

編著 『あゝ祖国よ恋人よ—きけわだつみのこえ 上原良司』

ほか。

「水が織りなす安曇野今昔物語」講座 人物編 12.8.8

★江戸時代からの歩み



★明治から大正時代

相馬愛蔵(1870-1954 穂高) 庄屋出身 実業家(蚕種製造、菓子商)

- 業績 ①研成義塾創設提案、援助 国家主義教育に対し自由主義教育 新しい村
 ②新商人道の成立 消費者の立場に立ち良い商品を開発、掛け値なしの安い
 価格で販売、消費者の絶対的信用獲得

- ③「中村屋サロン」を通じて新人文化の開発と国際正義の実現

内容 ①「研成」(研究して成し遂げる)の復興と自主・自立の地域づくり

1898(明治31)誕生←翌年の条約改正・内地雑居への対処

(独立への二つの選択肢-政府の国家主義か民間の自由主義か)

日頃愛して止まない万水川(地中深く流れ湧水・清い)号「万水」

「誠実と研究」好んだ言葉

- ②昭和14年 東京の小売業の売れ行きNO.1 岩波書店への影響

- ③妻・黒光(文学的才能)が主役、夫(実業的才能)が黒子に徹し調和。

—— 自立と独創のデュエット 「己れの業を以て国家・社会貢献」

美術サロン-荻原碌山 国際サロン-エロシェンコ、ビハリ・ボース

文化財 相馬生家 著書『一商人として』 妻の著書『黙移』『穂高高原』など

萩原礫山（1879－1910 穂高） 矢原の中農出身

業績 近代彫刻の先駆者

内容 「近代彫刻の父」ロダンの流れを最初に汲んだ作品発表（1908・明41～10・明43） 最初は画家を志すが、明治37年渡仏中「考える人」に出会い彫刻家に転身。39～40年アカデミー・ジュリアンの彫刻部で学び3・4回ロダンの指導を受ける。

近代彫刻 — 「人間（生命）」の発見と創造。従来のイタリア彫刻に対抗

「考える人」「歩く人」「技術」など人間の本質を表現

理想とする神を優美・繊細・技巧的に製作

日本 文展 「文覚」「坑夫」「労働者」「女」←工部美術学校系の高い評価

↑

石川啄木 片山潜 — 高い評価

故郷の山と川、とくに万水川 「白樺」

植原悦二郎（1879－1962 三郷） 幼少時家没落 大学教授 国会議員

業績 ①政治家として政党内閣制確立に貢献

②天皇主権憲法の下で国民主権論・天皇象徵制を主張

③清沢淵と共に軍部全体主義体制に対抗、太平洋戦争の和平に努力

④戦後の吉田茂の閣僚で現憲法制定に尽力、国連総会の顧問にもなる。

内容 ①第1・2次護憲運動ともに関わり犬養毅の政党に所属、藩閥専制打倒。

②大正デモクラシーの政治理論、民本主義につき吉野作造と論争（帝国憲法でも天皇の統治権は規定されているが、主権については規定なし）

③清沢淵の再婚の媒酌人でもあり、アメリカ駐日大使グレーと連絡をとる。

号 犀西（犀川の西）

文化財 生家（中萱） 胸像レリーフ（貞享義民館）

望月 桂（1887－1975 明科） 画家 マンガ家

業績 ①大正時代、絵やマンガによる啓蒙宣伝の民衆運動 無政府主義運動

②プロレタリア美術運動の先駆。最初のプロレタリア美術展開催

内容 ①東京美術学校卒、岡本一平らと同期。東京に一膳飯屋「へちま」経営、そこが大杉栄ら無政府主義者のたまり場になる。大杉著望月画『漫文漫画』

②1919（大正8）年、民衆美術宣言、黒耀会結成、官展に対し無鑑査・すべて展示方式の美術展開催。弾圧により4回で終わる。生活即芸術

深沢勇市（1886－1941 穂高） 旧梓川村川村家より矢原の深沢家に婿入り

業績 大王わさび農場創設者（1915・大正4～） 日本一広いわさび畑

内容 ①安曇野の最低地帯（520m）複合扇状地扇端部の湧水の有効利用

②犀川の氾濫に対する防災事業 農場として掘り出した砂利を堤防に

③安曇野伝説・八面大王の胴塚を祭り直す。

文化財 大王わさび農場内太田伯一郎撰文の勇市顕彰碑